

Title	生活史研究部門(I 研究所の概要)
Author(s)	杉山, 幸丸; 田中, 二郎; 小山, 直樹; 大沢, 秀行
Citation	霊長類研究所年報 (1976), 6: 15-16
Issue Date	1976-11-25
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2433/162724">http://hdl.handle.net/2433/162724</a>
Right	
Type	Departmental Bulletin Paper
Textversion	publisher

なう。又、田端英雄助教授（京大・理）との共同で同種の植生との関係を1つの重点項目とする。

#### 10) ニホンザルの社会生態学的研究

西 邨 顕 達

野外調査は行なわず。高崎山で過去4回生じた群れ分裂を中心とした群れ社会の歴史的变化に関する資料の整理と発表準備。

#### 11) 広鼻猿類の社会生態学的研究

西 邨 顕 達

1975年7月より1976年3月までコロンビア領アマゾン上流域でウーリーモンキーを中心とした調査を行なう。食性、遊動、個体の行動、個体間関係、群間関係についてかなりの新しい知見が得られた。

### 総 説

- 1) 和田一雄 (1976): A. H. Северцов の進化形態学と C. A. Северцов の進化生態学の評価をめぐって。ミチューリン生物学研究12 (1)
- 2) 和田一雄 (1976): セベルツォフ学派の紹介と評価——「個体発生過程における適応放散」(バスネツォフ1946) 哺乳類科学 32
- 3) 野沢 謙 (1975): 家畜化と集団遺伝学。日本畜産学会報 46: 549—557。

### 論 文

- 1) Nozawa, K., T. Shotake and Y. Ohkura (1975): Blood protein polymorphisms and population structure of the Japanese macaque, *Macaca fuscata fuscata*. In *Isozymes IV, Genetics and Evolution*, (ed. C. L. Markert, Academic Press) pp. 225-241.
- 2) Nozawa, K., T. Shotake, Y. Ohkura, M. Kitajima and Y. Tanabe (1975): Genetic variations within and between troops of *Macaca fuscata fuscata*. In *Contemporary Primatology*, S. Kondo, M. Kawai and A. Ehara. (eds.) Karger, Basel. pp. 75-89.
- 3) 野沢謙・庄武孝義・大倉よし子・田名部雄一(1975): ニホンザル志賀A群の遺伝的変異性。生理・生態 16: 99-103.
- 4) Kitajima, M., Y. Ohkura, T. Shotake and K. Nozawa (1975): Genetic polymorphisms of blood proteins in the troops of Japanese macaques, *Macaca fuscata*. IV. Erythrocyte esterase polymorphism in *Macaca fuscata*. *Primates* 16: 399-404.
- 5) Shotake, T., Y. Ohkura and K. Nozawa (1975): A fixed state of the PGM<sup>2</sup><sub>mac</sub> allele in the

population of the Yaku macaque (*Macaca fuscata yakui*). In *Contemporary Primatology*. S. Kondo, M. Kawai and A. Ehara (eds.), Karger, Basel, pp. 67-74.

- 6) Ishimoto, G., M. Kuwata and T. Shotake (1975): A variant hemoglobin found in *Macaca fuscata*: Another polymerizing hemoglobin of Macaques. *J. Anthropol. Soc. Nippon*, 83: 233-243.
- 7) 和田一雄 (1975): 志賀高原の冬期におけるニホンザルの生態とその適応的意義。生理・生態16: 9-14.
- 8) 和田一雄・森谷潔・原文江・大沢済(1975): 志賀高原のニホンザルの体脂肪について。生理・生態16: 104-107.
- 9) Nishimura, A. and K. Izawa (1975): The group characteristics of woolly monkeys (*Lagothrix lagothricha*) in the upper Amazonian basin. In *Contemporary primatology*. S. Kondo, M. Kawai and A. Ehara (eds.), Karger, Basel, pp. 351-357.

### 学 会 発 表

- 1) ニホンザル集団の繁殖単位  
野 沢 謙  
第47回日本遺伝学会 (1975)
- 2) ニホンザル種内の遺伝的分化  
野沢 謙・庄武孝義  
大倉よし子  
第20回プリマーテス研究会 (1976)
- 3) マレーシア在来山羊の遺伝子構成  
庄武孝義・西田隆雄  
藤尾芳久・田中一栄  
第64回日本畜産学会 (1975)
- 4) ニホンザルのセメント質の年輪による年令鑑定について  
和田一雄・大森司紀之  
八谷 昇  
水産学会シンポジウム  
「水産資源学の視点から」

### 生活史研究部門

杉山幸丸・田中二郎  
小山直樹・大沢秀行

### 研 究 概 要

- 1) ニホンザル個体群生態学的研究  
杉山幸丸・小山直樹・大沢秀行  
1. 霊仙山生息ニホンザル地域個体群の動態。餌付け

を放棄した2つの野生群の全個体標識識別を基礎に、餌付け期間中と対比させながら人口学的研究を進めてきた。とくに本年度は自然環境下における出産率、初産年令、若年死亡等に新知見を得た。

2. 嵐山生息ニホンザルの個体群動態。全個体に関する出産・死亡・離脱などの資料の収集と分析をおこない、個体群動態解明にとりくんできた。

3. 高崎山生息ニホンザルの個体群動態。ポピュレーション・センサスとサンプル標識追跡によって、個体群構造の人口学的解析を進めてきた。とくに本年度は餌付け条件下における生命表の作成が試みられた(変異部門西邨顕達と共同)。

2) エチオピア高原におけるゲラダヒヒの社会生態学的研究

大 沢 秀 行

昭和48年度の調査に引き続いて本年度も現地調査を継続し、集団構成と行動域、生息地の食物生産量、採食量との関係を追跡した。

3) 類人猿、狩猟採集民・遊牧民の生態学的研究

田 中 二 郎

ホミニゼーションの過程における生活様式と社会の復元を目的として、狩猟採集民、遊牧民の生態学的研究を行なっている(年報第5巻15頁参照)。昭和49・50年度にまたがる現地調査の成果を比較生態学的な観点からまとめてきた。

白山山麓における山村住民の調査を行ない、アフリカでの調査との比較的な視点から考察した。

## 総 説

1) 小山直樹(1976): テナガザル類。別冊サイエンス 特集動物社会学, サルからヒトへ: 78-91。

## 論 文

1) Masui, K., Y. Sugiyama, A. Nishimura and H. Ohsawa (1975): The life history of Japanese monkeys at Takasakiyama-A preliminary report. In *Contemporary Primatology*, S. Kondo, M. Kawai and A. Ehara (eds.) Karger, Basel. pp. 401-406.

2) Sugiyama, Y. and H. Ohsawa (1975): Life history of male Japanese macaques at Ryozenyama. In *Contemporary Primatology*, S. Kondo, M. Kawai and A. Ehara (eds.) Karger, Basel. pp. 407-410.

3) Ohsawa, H. and M. Kawai (1975): Social structure of Gelada Baboons. In *Contemporary Primatology*, S. Kondo, M. Kawai and A. Ehara (eds.) Karger, Basel. pp. 464-469.

4) Koyama, N., K. Norikoshi and T. Mano (1975):

Population dynamics of Japanese monkeys at Arashiyama. In *Contemporary Primatology*, S. Kondo, M. Kawai and A. Ehara (eds.) Karger, Basel. pp. 411-417.

5) Norikoshi, K. and N. Koyama (1975): Group shifting and social organization among Japanese monkeys. In *Proc. Symp. 5th Congr. Internat. Primat. Soc., Nagoya, 1974*. Japan. Science Press, Tokyo. pp. 43-61.

## 学 会 発 表

1) 高崎山生息ニホンザルの個体群動態 (1)ポピュレーション・センサスに基づく個体群構成の変化

増井憲一・杉山幸丸

西邨顕達・大沢秀行

第22回日本生態学会大会 (1975)

2) 高崎山生息ニホンザルの個体群動態 (2)標識追跡による個体群動態

杉山幸丸・西邨顕達

大沢秀行・増井憲一

第22回日本生態学会大会 (1975)

3) ゲラダヒヒのポピュレーション構成

大 沢 秀 行

第22回日本生態学会大会 (1975)

4) ニホンザルの出産率について

杉山幸丸・大沢秀行

第20回プリマテス研究会 (1976)

5) Life history of male Japanese monkeys.

Sugiyama, Y.

14th International Ethological Conference (Parma) (1975)

6) 霊長類の行動様式と社会のしくみ

杉 山 幸 丸

第3回日本医師会特別医学分科会 (1975)

7) グルーミング関係からみたニホンザルの血縁関係

小 山 直 樹

第29回日本人類学会・日本民族学会連合大会 (1975)

## 生理研究部門

大沢 済・大島 清

目片文夫・林 基治

## 研 究 概 要

1) 体温調節反応の比較生理学的研究

大沢 済・目片文夫・原 文江

各種サル類の寒冷、暑熱下における体温調節反応を比